

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標等の状況

【令和3年2月12日時点】

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標の状況 留意事項

- ※1 県内の感染状況：⑤感染経路不明者数は、保健所の調査の進捗により経路把握が進むため、後日、感染経路不明な症例の割合が低下する。
- ※2 県内の感染状況：⑥新規PCR検査の陽性率(直近1週間平均)の数値は前日の数値。保健診療検査関連の数値は、各検査機関からの報告が遅れるため、一部のみカウントされた数値となっている。
- ※3 県基準の「重症者」とは、ECMOでの治療が必要など重症者の患者のみで算定した数値である。
- ※4 国基準の「重症者」とは、厚生労働省の重症者基準に基づき、集中治療室(ICU,HCU)入院者を全て重症者として算定した数値である。
- ※5 「【確保済】医療機関病床数」とは、各医療機関において現在確保している病床数のことである。
- ※6 「最大確保：病床数」とは、感染ピーク時に向け確保しようとしている病床数のことである。
- ※7 「現時点確保：病床数」とは、各医療機関にアンケート調査を行い、報告を受けている最大確保予定の病床数である。
- ※8 国の指標及び目安では、医療体制②・③の病床数及び重症者用病床数は、感染ピーク時に確保しようとしている病床数で算定しているが、沖縄県では、確保済みの病床数及び重症者用病床数で算定している。